

日本学術会議 経済学委員会 経済学分野の参照基準検討分科会（第 1 回）

議事要旨

日時 2013 年 2 月 8 日（月）13:00-16:00

場所 日本学術会議 6-C (1) 会議室（6 階）

出席者 岩本委員長、奥野副委員長、多和田幹事、筒井委員、宮川委員、北原和夫特任連携
会員（説明者）、山岡道男参考人

資料

資料 1. 「分野別質保証」と「学習成果の評価」

資料 2. QAA Subject Benchmark Statement: Economics (2007)

資料 3. OECD AHELO Brochure

資料 4. OECD AHELO Economics Assessment Framework

資料 5. Tuning-AHELO Conceptual Framework of Expected and Desired Learning
Outcomes in Economics

資料 6. 今後のスケジュール

資料 7. 大学教育の分野別の質保証のための教育課程編成上の参照基準について—趣旨の
解説と作成の手引き—

資料 8. 各分野における参照基準の作成のためのサンプル

資料 9. 理工農系分野における分野別参照基準の検討に際して留意していただきたいこと

資料 10. 経営学分野の参照基準

資料 11. 法学分野の参照基準

資料 12. 言語・文学分野の参照基準

資料 13. 回答 大学教育の分野別質保証の在り方について（2010 年）

資料 14. アメリカでの経済学教育について

資料 15.

参考 1. 経済学委員会経済学分野の参照基準検討分科会設置提案書

参考 2. 経済学委員会経済学分野の参照基準検討分科会名簿配布資料

議題

1) 分科会の設置目的等について

世話人の岩本委員が、役員が選出されるまで議事進行をつとめ、分科会設置提案書に基づき、設置目的、審議事項について説明した。

北原和夫特任連携会員（大学教育の分野別質保証委員会委員）が資料 15 に基づき、「大学教育の分野別質保証と参照基準」について説明した。

2) 役員の選出について

出席委員の互選により、岩本委員を委員長に選出した。

岩本委員長が奥野委員を副委員長に多和田委員を幹事に指名し、承認された。

広田照幸連携会員（大学教育の分野別質保証委員会企画連絡分科会委員）を委員として追加することとした。

3) 外国の動向について

岩本委員長より、資料 1～5 に基づき、英国の QAA Subject Benchmark Statement: Economics と OECD AHELO Economics Assessment Framework の紹介があった。

次回に、岩本委員長が QAA と AHELO での「学習成果」の内容の整理を報告することとした。

4) 経済学教育の現状について

山岡道男参考人（早稲田大学教授）より、資料 14 に基づき、「アメリカでの経済学教育について」の報告があった。米国経済教育協議会（Council for Economic Education）の活動である TUCE（Test of Understanding of College Economic）、初等中等教育での経済学教育標準 Voluntary National Standard in Economics、ドイツ、ニュージーランドの大学の状況、質保証のための検討項目について、議論された。

5) 今後の進め方について

岩本委員長より、参照基準の検討に先立ち、可能であれば関係する課題のヒヤリングをおこないたいと提案があり、委員にヒヤリングについての情報提供を求めた。

参照基準の検討は、「経済学の定義と固有の特性」、「基本的な知識と理解、基本的な能力」、「学習方法及び学習成果の評価方法」、「専門教育と教養教育との関わり」の 4 課題に分けて、進めることとした。

資料 6 に基づき、今後のスケジュールが検討された。資料 6 のスケジュールでは審議回数が十分にとれないことが予想され、参照基準の検討により時間をかけ、シンポジウムは年末開催を目途とすることとした。執筆分担の決定は第 3 回以降になる見通しとされた。

今回は 4 月頃開催とし、後日日程調整することとした。

以上